

NEW ZEALAND

NZの放牧のメリット

- ミルキングパーラー等の主要施設が1つで済む。
- つなぎ牛舎よりも労働力が少なくていい。
- 餌代などの管理費が安く済む。

個体管理は？

NZでは機械化が進んでおり、耳にICチップをつけることで、個体別にコンピューター管理されている。

日本では省カ化をすすめるべき!!!

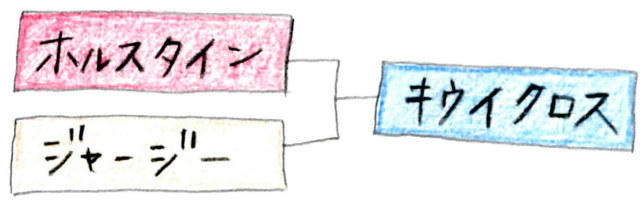
- ★ ICチップの導入により...
 - ・ 病気や治療歴の管理がしやすい。
 - ・ 乳量の管理が正確になる。
- ★ ミルキングパーラーの導入により...
 - ・ 労働力がいらなくなる
 → 人件費による出費の削減。



さらに 交雑率のいい酪農経営 につながる。

≪ 放牧 ≫

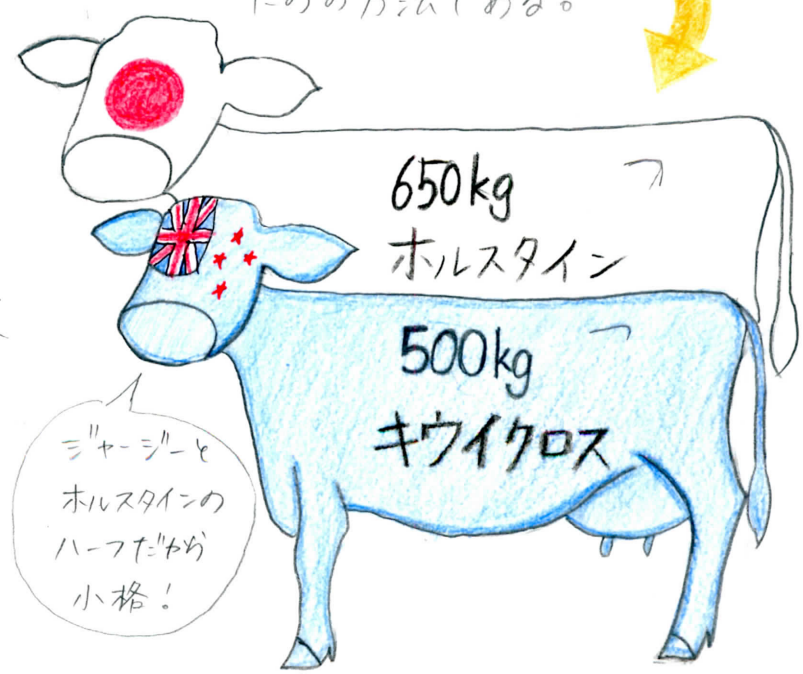
つなぎ牛舎だとどうしても運動不足になってしまう牛がいる。少し運動できるスペースがあれば、運動不足、肥満が解消される。



NZではキウイクロスという名の品種が主流になっている。

日本は乳量で乳価が決まれているが、NZはミルクソリッドという乳脂肪と乳蛋白の合計で決まる。

少しでも乳成分の多い乳を出産するための方法である。



ジャージーとホルスタインのハーフだから小格!